



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1088

20.01.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

第二の革命

第一巻：信仰と闘争

第1部

FOREWORD
by Christian Worch

ミヒャエル・キューネンとの出会いは、1977年の夏、コムューンとのストリートファイトの時だった。事情があつて短時間だったこの初対面でも、彼と彼が率いるレジャークラブ「ハンザ」の同志たちは、私に最高の印象を与えてくれた。私がNPDを離れ、ミヒャエル・キューネンが計画していた新党のメンバーとして利用できるようになったのは、ほんのわずかな時間のことだった。

1977年秋、AKTIONSFRONT NATIONALER SOZIALISTENがMichael Kühnenによって設立されました。数ヶ月で、私たちは西ドイツの国境を越

えて知られるようになりました。ミヒヤエル・キューネンが考案したプログラムと、オープンで挑発的な外観のコンセプトは、素晴らしいものであることが証明されました。私たちは、若い自己犠牲的な理想主義者の小さなグループに過ぎず、後ろ盾もコネも影響力もなく、資金援助もなかった。しかし、私たちは躊躇することなく、成功を収めました。敵は初めて、組織化された、ほとんどが若い国家社会主義者の存在に注目せざるを得なくなったのです。

ミヒヤエル・キューネンの副官として、私は事実上すべての行動に立ち会いました。さらに、あらゆる組織的な問題について、彼と緊密に協力しました。この間、私は彼を人として、同志として、そして政治的指導者として知り、評価するようになった。

誰も彼に対抗することはできなかった：

彼の完全なコミットメントと犠牲を払う意思、政治的ビジョン、戦術的・戦略的なセンスによって。そして何よりも、若い活動家たちを惹きつけるカリスマ性を持っていた。彼は幅広い教養を持ち、決断力があり、粘り強くて勇気があり、優れた演説家であり組織人である。彼は、利己主義やうぬぼれからリーダーシップを主張したのではなく、同志から押し付けられたものであり、彼と同じように、自分がそれに最適な人物であることを理解しているからこそ、それを受け入れたのである。

1978年夏に彼が逮捕された後、私自身が逮捕されるまでのさらに1年半、SNEを率いることができました。私たちが投獄されている間、政治情勢は変化しました。迫害が強くなり、その結果、多くのグループが解散してしまいました。しかし、精神的な風潮、特に若い人たちが、古いけれども永遠に新しいアイデアのために立ち上がろうとする意欲は、より良くなっていきました。まるで運命が一息ついているようでした：

ミヒヤエル・キューネンの発売を待つために。

1982年12月、その時が訪れ、それ以来、事態は力強さを増していきました。フランクフルト・アピールと**国民**社会主義者との統一が続いた。この後、センセーショナルな市民集会が開催され、海外でも大きく報道され

た。それに続いて、すべての重要な国家社会主義勢力が統一された組織となった。3月以降、私もまたこれに積極的に参加することができた。ミヒヤエル・キューネンの身近にいた人間として、私たちの仕事がいかに困難であったかをよく知っています。車両、印刷機、その他の技術設備、集会所、人脈が不足していたのです。国家による迫害とコミュニケーションからの恐怖が交互にやってきました。1983年の最初の半年間だけでも、ミヒヤエル・キューネンに対する攻撃は合計3回あった。

そして、常にお金が不足していることが、特に憂鬱でした。車で集会に行っても、帰りのガソリンが足りるかどうかさえわからないことが何度もあった。

しかし、これらの問題は、ミヒヤエル・キューネンを落胆させるものではありませんでした。それは、彼の決意とコミットメントを強めるだけであつた。彼は、同志たちを常に新しい行動へと駆り立て、成功へと導く原動力となつたのです。

憲法保護局の公式情報によると、私たちのメンバーは270人以下でしたが、1983年12月7日、ANS/NAとそのすべての補助組織が禁止されました。しかし、西ドイツの構成国であるドイツ連邦共和国の歴史上初めて、組織に対する禁止令は効果を発揮しなかつた。ミヒヤエル・キューネン自身は、禁止令の日に同志や報道陣の代表者にこう語っている：

"禁止"された。だからなんだ？ジークハイル！"

1年間の闘いと犠牲の上にできたコミュニティは、単純に禁止するわけにはいかない。組織は解散しても、そのために戦った人たちは残ります。そして、統一されたリーダーシップのもと、共通の目的のために働いたという素晴らしい感覚もまた、残つたのです。

わずか数カ月後、西ドイツの主要な政治家たちは、この禁止令が打撃を与えたことを認めざるを得なくなつた。その反動で、ミヒヤエル・キューネンに対する国家的恐怖が強まりました。ミヒヤエル・キューネンに対する捜査は再び行われ、彼は法廷に引きずり出され、最もあり得ない口実であらゆる機会に警察に逮捕された。私たちは、ミヒヤエル・キューネンが再

び民主的な意見監獄の鉄格子や壁の向こうに姿を消すまで、そう時間はかからないだろうと思っていました。彼もまた、このことを知っており、そのために準備し、覚悟を決めていた。組織されたドイツの国家社会主義者たちは、ミヒャエル・キューネンを揺るぎなく支持している。このことだけでも、ミヒャエル・キューネンの持つカリスマ的なオーラ、彼が信奉者の信頼をどの程度享受しているかが証明される。今後もそうであることに疑いの余地はない。ミヒャエル・キューネンは一代で党の歴史となった。そして、たとえ今日、彼が我々の中から引き離されたとしても、彼の名前はドイツに国家社会主義者が存在する限り、言い換えれば、ドイツが存在する限り、不滅であり続ける。

この本について

『**第二の革命**』は、獄中で書かれ、違法に密輸されたものである。最初の出版は、同志ティース・クリストファーセンの【**KRITIK VERLAG**】になるはずだった。しかし、その前に、政治警察が介入してきた。原稿は没収され、ティース・クリストファーセンとミヒャエル・キューネンが起訴された。本が印刷されていなかったのが判決は覆されたが、西ドイツの司法史上、まだ本を印刷していないにもかかわらず、本を印刷して配布しようとする男たちを有罪にしようとしたのは初めてのことである。このこと自体が、西ドイツの支配者たちにとって、「**第二の革命**」がいかに爆発的であるかを証明している。

私たちは、冒険的な方法で原稿のコピーを入手することができた。大々的な警察活動が行われても、少なくとも1部は原稿が残るようにと、しばらくは地下で原稿のコピーを配布していました。『**第二の革命**』は、基礎的な作品であり、理論であり、展望でもある。私たちがなぜ、どのように戦うのか、そして何よりも最終的な目標を説明する。それは、国家社会主義を、この時代、この国で、あらゆる困難に打ち勝って実現するためのプログラムであり、包括的なガイドなのである。そして同時に、この本は、運動の古典的な敵、新しい敵の両方に対する宣戦布告であり、我々の思想の革命的性格の公言である。

本書が決定的なのは、この本が表現しているビジョン、その信念の一貫性

だけではありません。それに劣らず重要なのは、この本が読みやすい本であるということです。国民的作家の長ったらしい説明とは対照的に、ミヒャエル・キューネンは国民の言葉を話し、その言葉通りに書いている。大学や文法学校に通ったことがなくても理解できる本である。できれば、すべての国民が知るべき本であり、何よりも注目すべき本である。この本は革命的な本であり、その配布は、民族革命と社会主義革命の偉大な目標である、人民と思想の刷新に向けた重要な一歩である。

イントロダクション

私は国家社会主義者である。

私はファイターであり、偉大な弁士ではありません。そしてもちろん、作家でもありません。

私は23歳で、回顧録や政治哲学を書くような年齢ではありません。

意見留保中-発言の根拠となる書籍や資料が不足しています。

この文章は弾圧されるだろう。いわゆる「ネオナチ」に対するブルジョア世界の見方は、あまりにもちぐはぐだ。脳なしチンピラ、政治的ロッカー、ガス室党のサイコパスの子孫、それが敵の目に映るわれわれの姿であり、『ユディッシュ・アルゲマイネ』から『アルバイター・キャンプ』まで、『シュプリングー』からUZまで、『フォアヴェルト』から『ナショナル・ザイツング』まで、体制報道機関の回転シナゴグが人民に見せたい方法である。私たちが違うということを証明することが、この本の課題の一つです。

私はこの本を、闘う者として、実践者として、また、何か言いたいことがある若い戦線の創設者であり指導者として書いている--理論的な風来坊としてではなく！私の言葉は、淡白な言葉ではなく、私が投獄されている血塗られた信仰です。なぜなら、この民族の未来は危機に瀕しているからだ。この民族は、世界の歴史上最も偉大で勇敢な民族の1つでありながら、今や胸が締め付けられるような形で犬の餌食になってしまったのだ。

本書は、告発と非難を行い、私の若い同志たちの荒々しい憎悪に表現と形を与えるとともに、ドイツ人が再び自分たちの中にいる、自由で、誇り高く、幸福で、**第四帝国**の中で団結した新しい、より良いドイツを描きたいと思います！

私自身については、あまり多くを語る必要はないでしょう。私は1955年6月21日、大ドイツ帝国が崩壊して10年後のボン・ボイエルで生まれました。私は中流家庭の一人っ子で、その家庭の子弟の活動には全く恐怖を感じている。私は幼い頃から政治に興味があり、14歳からはかなり波乱万丈な政治生活を送ってきた：

私はNPDの支持者でしたが、NPDは最初から私にとっては穏健すぎたので、ボンで初めて、そしておそらく唯一の国民民主主義学生のスポークスマンになりました。私はAktion WIDERSTANDの小さな活動家でしたが、その敬礼は今日でも使っています。Wは、連邦共和国のすべての民族勢力の統一シンボルとして、歴史的な一瞬を飾りました。アクション・ウィダースタンドの失敗は、5%のハードルを飛び越えようとしたNPDの失敗に続いて、わずか5年の間に国民運動の2番目の悲劇となった。それは、いわゆる「国民的」反動主義者たちの臆病な俗物主義によるものであり、今日私たちが知っているように、国民的陣営に身を寄せるフリーメイソンやシオニストの召使いの裏切りによるものであった。私は自分の信念を変えることなく、戦術的な理由から同じ時期にユンゲ連合に参加したが、数週間後に脱退し、若くして老いたCDUの後輩たちの排他的なキャリア主義に呆れた。

1973年以降、運動が初めて国家の表舞台に登場したように見えた。ブルジョワのNPDを脱退した若い愛国者たち（当初は400人ほど）が、Aktion NEUE RECHTE（ANR）を結成し、爆発的に拡大したのである。ここで私たち少年は、自分たちの信念を隠すことのない本物の国家社会主義者に初めて出会ったのです。私の住んでいるライン・シーク地区でANRのビラを配ったのは、おそらく私が最初だったと思います。しかし、ANRの急速な成長は、祝福よりもむしろ災いとなることが判明しました。セクトリアンが現れ、分裂主義者が頭をもたげ、ANRは分裂してしまった！

私の中ですべてが崩れ去った！ブルジョア・民主主義者や国民的俗物に対して、どう思うかがわかったのです。まだ18歳だった私は、すでに4つのグループを経験していました：

NPDの青年組織であるJN、その後Junge Union、Aktion W、そして最後にAktion NEUE RECHTEです。当時、私は自分をファシストだと思い、ベニート・ムッソリーニを熱狂的に崇拜し、その権力闘争をいつも熱い思いで思い出していました！

当時、私と国家社会主義を分けたのは、勝者のプロパガンダの嘘を信じるすべての人々を分かつものでした：

私は、国家社会主義者がユダヤ人に対して何を考えているのか理解できませんでした。19歳で政治から手を引き、連邦軍に志願する前に、私は最後の政治的過ちを犯してしまいました：

確信犯的なファシストのミヒャエル・キューネンは、戸惑いから、新しい（毛沢東主義の）KPDの国家社会主義共産主義になびき始めた！この時期も短かったのですが、左翼にも若い理想主義者がいて、そのほとんどがベストを望んでいることを認識させられました。それ以来、私の憎悪は、自らを守るためにこの民族の最高の息子たちを互いに対立させる自由資本主義システムと、ボルシェビズムの犯罪システムに対するものであり、もう一つの現場ポスト番号、つまりハンマーと鎌を持った単純で見当違いの前線闘士に対するものではなかった。もし、ほんの一瞬でも、右翼と左翼の強力な革命的潮流が団結し、ボンの占領下僕たち、外国の利益の手先たちが奈落の底に叩き落とされたら、この腐敗した体制はどんなに震え始めるだろう！

1974年7月1日から1977年9月1日まで、私はドイツ軍に志願しており、最終階級は中尉でした。さまざまな訓練コースで、私はほとんど例外なく良い評価を受けました。私は2年近く政治から遠ざかっていたが、時には気性が荒くなりそうなこともあった。1976年の連邦議会選挙に向け、数百万ドルの予算で自由に活動できるこの新しい右翼政党の組織化に最初から参加したのです。ハンブルクでは、「黒・白・赤」の

州連合があったため、特に有利な状況だった。当初から、ハンブルク州のAVPの役員には、少なくとも4人の右翼がおり、そのうち2人は国家社会主義者だった！私はこの役員会の設立から最終的に選挙立候補が失敗に終わるまで、最初は査定員として、最後は副州議長兼連邦議会指名候補者として参加した。

しかし、この婚約中に、当時35歳くらいの大学院のエンジニアで、「NSDAPの友人」のリーダーであるヴォルフ＝ディーター・エカートと知り合うことができた。エッカーは「あの」国家社会主義者のパイオニアである。1967年から68年にかけて、早くもドイツ国家社会主義者連盟（BDNS）設立の準備作業を開始し、1969年に禁止された。この男は、私が正しい道を歩んでいるという確信を強めてくれた。それまで私は、「私の右側には壁しかない」と言うことができたが、今日は「私が壁だ！」という文章が当てはまる。

ハンブルクは新世代の国家社会主義者の牙城である。1960年代末から、国家保護当局は「地域的に重要なNSグループ」の存在を記録している。指導者が変わり、新しい名称を持つようになった国家社会主義者は、古い反動的な右派のゲッターから脱出するために、実行可能で合法的な方法を模索した。最初はJNで、次に「6月17日憲章」で、最後は「民族社会主義者同盟」の前身である「フライツァイトフェライン・ハンサ」として活動した。ハンブルク州NSDAP/AOでは、1971年以来、老若男女の国家社会主義者がNS禁止令解除のために戦ってきた。

1977年5月8日、2人の同志の支援を受けて、ハンブルクの国家社会主義に新たな勢いと戦略を与えるためにハンザのレジャークラブを組織したとき、その地は好都合だった。匿名から人々の中に入って行く道が始まったのである。これまでにない新しいアイデアで、国家安全保障は挑発され、マスコミは報道を余儀なくされ、人々はついに「われわれは戻ってきた」と知ったのである！

逮捕や捜査、職や家の喪失など、困難な道のりでした。恐怖は増し、

システムは反撃した。1978年1月から7月にかけて、私は18回逮捕されました。それでも私は犯罪を犯していない

:

私は国民を愛し、アドルフ・ヒトラーを尊敬し、自分の意見を言う。だからこそ、民主党の牢獄をくぐるのだ！

しかし、私は一人で行くものではありません。私や国家・社会主義戦闘部隊の他の指導者たちの背後には、どんな危険からも逃げない、必要なら自分の未来や若さ、命さえも人民のために犠牲にする覚悟のある若い同志たちが、すでに何百人もいるのである！最初に18-20歳の若者がやってきて、今は14-16歳の若者がすでに我々の旗を掲げている。そして、毎日もっと増えている。やがて数千人になるだろう：

鉤十字とユダヤ人保護条項は崩壊し、国家社会主義ドイツ労働者党は再び我々の民族の運命をその手に握ることになるだろう！この日のために我々は生き、この日のために我々は戦い、この日のために我々は死ぬ！私たち若い愛国者は、指導者も従者も、すでに地下で戦い、いつか再び歴史に介入することになる来るべきNSDAPの下僕以外の何者でもありたくないのだ！



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFF DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 26. April 2017 02.06

Der Kampf geht weiter !

Beim Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da zu sein in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Bewegung, Vorführung, Verfolgung und Verurteilung haben nicht erreicht, das Kern der gesamten Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu zerstören.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter- und Kampfgemeinschaften Schicksal als Schicksal im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völker. Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Größe des hochgeliebten Volkstums ist keine noch und größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist eben Adolf, das Volkstum – gegen alle weißen Völker (V) – zu bringen. Seine Mittel sind Erziehung, Überführung und Kampfschulung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Streikkampf, ob im Propagandakampf bzw. auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hail Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER
Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture denigration, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hail Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!